SONY

ウェアラブル
コミュニケーションギア

使用上のご注意／主な仕様

NYSNO-100

0 000762 100017

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この使用上のご注意／主な仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**使用上のご注意／主な仕様および取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

マニュアルについて

取扱説明書には以下の3種類があります。

取扱説明書（別紙）

接続方法や基本的な使いかたを説明しています。

使用上のご注意／主な仕様（本書）

使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

ヘルプガイド（Web取扱説明書）

本機の使いかたを詳しくお知りになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処方法もわかりやすく記載しています。
パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

https://rd1.sony.net/help/nysno/nysno100/ja/

©2020 Sony Corporation Printed in Vietnam
E-762-100-**01**(1)

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐに裏面の「修理の相談窓口」にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. お買い上げ店または裏面の「修理の相談窓口」に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

行為を指示する記号

指示

⚠危険 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない
上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。
禁止

火の中に入れない
禁止

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない
禁止

充電アダプターの端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない
充電アダプターの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
禁止

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

道路交通法に従って安全運転する
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。
- 本機の道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しないでください。

注意

周囲の音が聞こえないと危険な場所では安全に充分注意をする
歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。
踏切や横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では安全に充分注意してご使用ください。
注意

分解や改造をしない
故障や感電の原因となります。内部の点検および修理は裏面の「修理の相談窓口」にご依頼ください。
分解禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、裏面の「修理の相談窓口」にご相談ください。
禁止

乳幼児の手の届かないところに置く
イヤーピースなど小さな部品は飲みこむおそれがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。
禁止

本機を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってキャビネットが変形したり、火災の原因となることがあります。
禁止

電池が漏液したり、異臭がする時にはただちに火気より遠ざける
指示

一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄しない
火災や破裂の原因となることがあります。
禁止

雷が鳴りだしたら、本機やUSBケーブルに触れない
感電の原因となることがあります。
禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
指示

本機を医療機器の近くで使わない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
注意

イヤーピースはしっかり取り付ける
イヤーピースが外れて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。
注意

大音量で長時間続けて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
本機につないでいるBluetooth機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
禁止

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。
禁止

かゆみなど違和感があったら使わない
本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師または裏面の「お問い合わせ窓口」にご相談ください。
禁止

使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する
本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
禁止

通電中の製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。
禁止

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
禁止

本機は、国内専用です
海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。
指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 **充電式電池が液漏れしたとき**

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本機内部に残ることがあるため、裏面の「お問い合わせ窓口」にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

本機を廃棄するときは

Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、裏面の「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

静電気に関するご注意

人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じることがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

無線機器について

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本機を分解／改造すること

周波数について
本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項
本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、裏面の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

2.4FH8/XX8
この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の変調方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

無線機器の身体密着に関するご注意
本機と接続する携帯電話や無線機器の身体への装着に関して、詳しくは接続する機器の取扱説明書をご確認ください。

R 011-200009

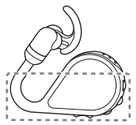
使用上のご注意

BLUETOOTH®接続のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 m*までの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。

  * グループトーク時は最長約500 m。
  見通しのよい場所での2者間会話可能距離。当社測定方法による。

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  – 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
  – 本機とBluetooth機器をできるだけ近づける。
  – 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
  – 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続するBluetooth機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、Bluetooth通信の感度は向上します。



- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetooth機器での音声がわずかに遅れます。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
  – 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
  – 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  – 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
  – ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

本機の充電について

- 本機はUSB充電専用です。本機の充電を行うには、USB端子のあるパソコンまたはUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20（別売））、およびマイクロUSBケーブル(別売)が必要です。
- 充電中は電源が入らず、Bluetooth機能は使用できなくなります。
- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  – 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  – ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
  – ホコリの多いところ
  – ぐらついた台の上や傾いたところ
  – 振動の多いところ
  – サウナなど、45℃を超える高温多湿なところ
  – 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  – 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
  – 本機をかばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 本機を付けたまま寝ないでください。
- アンビエントイヤーピースは長期の使用・保存により劣化するおそれがあります。

プールや海でお使いになるときのご注意

- 水中では電波が伝わらないため、本機は使用できません。
- 人の多い場所や周囲の音が聞こえないと危険な場所などでは安全に充分ご注意ください。
- 公営または私営のプールなどでご使用になるときは、使用施設のルールに従ってご使用ください。
- 本機を耳に装着したままプールに飛び込まないでください。イヤーピース部分は密閉度が高いため、イヤーピースが耳に強く押し込まれた急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。
- 高温のお湯を直接かけたり、ドライヤーなどの熱風を直接当てないでください。また、サウナやコンロの近くなど高温になる場所では絶対に使用しないでください。
- 次のような環境でのご使用や放置は避けてください。
  – 炎天下、自動車内、温水の中など、45℃を超える高温多湿な場所
  – −5℃以下の場所
- やむをえず直射日光に当たる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 激しい運動中などは、装着が外れて本機が落下するおそれがあります。注意してご使用ください。

保管について

本機には、リチウムイオン充電池が内蔵されています。長期間保管するときは、次の事項に注意してください。

- 充電池の劣化は、満充電で保管すると激しくなり、保存温度が高いほど早く進みます。
  (たとえば、シガーソケットに接続したまま自動車内に放置するなど)
  できるだけ35℃以下のすずしい場所に保管してください。また、充電容量を50%前後にして保管することをおすすめします。
- 電池の劣化を抑えるために、本機を長期間使わない場合でも、半年ごとに充電するようにしてください。

本機表面の汚れは

- 柔らかい布(市販のめがね拭きなど)で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

アンビエントイヤーピースのお手入れについて

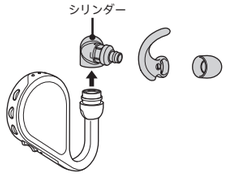
ヘッドホンからアンビエントイヤーピースを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

運動でご使用後のお手入れ

ご使用後は、必ず以下の手順で本機とアンビエントイヤーピースを毎回お手入れしてください。

- 塩分が付いたままにしておくと、金属端子のさびや異物の付着により、充電ができなくなる原因となります。
- サンオイルや日焼け止めなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。
  付着したまま放置すると、表面の変色やヒビなどの原因となります。
- イヤーピース、シリンダー内部やメッシュシート部に耳あかなどの異物が付着すると、音がこもったり音が出なくなる原因となります。

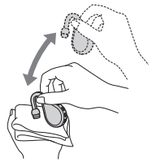
① 本機からアンビエントイヤーピース、アークサポーター、シリンダーの順に外し、薄めた中性洗剤でそれぞれを手洗いしてください。洗浄後は水気をよく拭いてください。



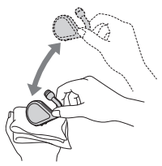
② 充電端子部を弱い水流の水道水で洗います。充電端子部が汚れている場合は、水でぬらした毛先の柔らかい歯ブラシなどで汚れを取り除いてください。

③ 充電端子部や本機表面の水分を乾いた柔らかい布などで拭きます。

④ シリンダーが付いていた部分を下に向けて、乾いた布などに20回程度軽くたたくように当て、水分を取り除いてください。



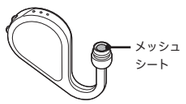
⑤ ボタン周辺部を、乾いた布などに30回程度軽くたたくように当て、水分を取り除いてください。



⑥ 乾いた布などを下に敷き、2 ～ 3時間程度常温で放置します。

ご注意

- メッシュシートに付着している異物をこすらないでください。異物が本機の中に入ってしまったり、防水・防じん性能が損なわれたりすることがあります。



ご使用について

- 航空機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 周囲に配慮する必要があるような混雑した場所ではご使用をお控えください。
- 耳に差し込むタイプのヘッドホンは、アンビエントイヤーピース部分の密閉度が高いため、アンビエントイヤーピースが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、アンビエントイヤーピース部分を上下に動かして、ゆっくり取り外してください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
  結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
- 本機をUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取り外してから行ってください。

防水・防じん性能を保つために

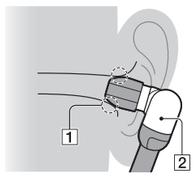
防水の対象となる液体 対象：真水、水道水、汗、海水、プールの水 非対象：上記以外の液体(例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯など) 防塵の対象となる塵埃(じんあい) 対象：直径75 μm以下の塵埃

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用になってください。

- 本機を温度が非常に高いところ(約41℃以上)や低いところ(約− 11℃以下)で使用したり、放置したりしないでください。上記範囲外で使用したり放置したりすると、内部回路の保護のために、自動的に動作が停止する場合があります。
- 本機はMIL-STD810F Method516.5-Shockに準拠した厚さ5 cmの合板上での1.2 mからの落下テストをクリアしています。ただし、すべての状態において無破損・無故障・防水・防じん性能を保証するものではありません。本機を落下させたり、衝撃を与えたことによる変形や破損によっては防水・防じん性能劣化の原因となることがあります。
- マイクの穴に、ピンなどの先の細いものを挿入しないでください。防水・防じん性能の劣化の原因になります。

ご使用中、音声が聞こえにくくなる仕組みについて

- 耳とアンビエントイヤーピースの隙間([1])から水が浸入し、侵入した水が鼓膜を覆い、聞こえにくくなります。
  ➔ 最適なサイズのアンビエントイヤーピースをお使いになることで、水の侵入を防ぐことができます。
- 外耳道に侵入した水がシリンダー内([2])に溜まると聞こえにくくなります。
  ➔ シリンダーを取り外し、シリンダー内の水を抜いてください。



本機の動作がおかしいときは

- 本機をリセットしてください。
  充電中に🎤／PTT（マイクオフ／プッシュ トゥ トーク）ボタンを7秒以上押します。
- リセットをしても症状が改善されないときは、本機を初期化してください。
  電源が切れている状態でVOLUME−ボタンを押しながら⏻／📞(電源／通話)ボタンを7秒以上押します。操作ランプが青色に4回点滅し、工場出荷時の設定に戻ります。すべての機器登録情報が削除されます。
  続いてスマートフォン側の本機の登録をいったん削除して機器登録し直してください。

主な仕様

ヘッドセット

Bluetooth

- 通信方式：Bluetooth標準規格 Ver.5.0
- 通信出力：Bluetooth標準規格 Power Class 1
- 使用周波数帯域：2.4 GHz帯(2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz)
- グループトーク会話可能距離：最長 約500 m*1
- 変調方式：FHSS
- 対応Bluetoothプロファイル *2
  – HFP（Hands Free Profile)
  – HSP（Headset Profile)

*1 見通しのよい場所での2者間会話可能距離。当社測定方法による。
地形、天候、障害物、周囲の電波状況などの影響で短くなることがあります。

*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

マイク

内蔵モノラル

ヘッドホン出力

- 実用最大出力：4 mW
- 伝送帯域：20 Hz ～ 20,000 Hz（44.1 kHzサンプリング時)

電源

DC 3.7 V：内蔵充電式リチウムイオン電池
DC 5 V：USB充電時

質量

約15 g

動作温度

–10 ℃～ 40 ℃

電池持続時間

最大 約4時間*3

*3 25 ℃ 環境下での時間です。

充電時間

約1.5時間*4

*4 使用条件により変わる場合があります。

充電方法

USB充電

充電温度

5℃～ 35℃

防水/防じん仕様

IP65/IP67（JIS C 0920 防水保護等級）相当*5

*5 本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」の「水の浸入に対する保護等級」であるIPX5/7*6 相当の防水仕様*7、「外来固形物に対する保護等級」であるIP6X*8 相当の防じん仕様となっています。水深1 mを超えた場所では使用しないでください。ご使用になる前に、必ずこの防水／防じん性能の内容をご理解、ご確認ください。

*6 IPX5（噴流に対する保護等級）：内径6.3 mmのノズルを用いて、約3 mの距離から約12.5 L/分の水を3分以上注水する条件で、ヘッドホン部以外は、あらゆる方向からの水の直接噴流によっても、本体機能を保ちます。
IPX7（浸水に対する保護等級）：深さ1 mの水中に30分間沈めた後でも、本体機能を保ちます。

*7 同梱の充電アダプターは防水対象外です。

*8 IP6X（粉じんの侵入に対する保護等級）：直径75 μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に本機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに本機の内部に塵埃が浸入しない機能を有することを意味します。

防水・防じん性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。 お客様の誤った取り扱いが原因の浸水や塵埃の浸入による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

同梱品

- ウェアラブルコミュニケーションギア(1)
- アンビエントイヤーピース(各サイズ1個)
- アークサポーター（各サイズ左右1組)
- イヤーハンガー（1)
- シリンダー（左右1組)
- 充電アダプター（1)
- 取扱説明書
- 使用上のご注意／主な仕様(本書)
- 保証書

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター
　AC-UD20（別売)
市販のUSB ACアダプター
　出力電流0.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター
パソコン
　USB端子が標準装備されたパソコン
- すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

免責

- 本機使用時の法的責任はすべて使用者にあり、当社、輸入会社、および販売会社は一切の法的責任は負いません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではウェアラブルコミュニケーションギアの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後4年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ窓口	
https://www.sony.jp/support/nysno/products/nysno-100/	
修理のご相談	
フリーダイヤル	0120-252-645
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9592
FAX	0120-333-389

ソニー株式会社
〒108-0075東京都港区港南1-7-1